

子タヌキ踊りを披露

10月15日（土）、諏訪神社境内で立石区まつりが行われ、子タヌキ踊りが披露されました。この踊りは、地域・世代間の絆が強くなるよう3年前から始められています。

立石区に住む小学生12人が参加し、子タヌキ踊りの先生である東章子さん（鶯原）の指導のもと、8月から約2カ月間練習を行ってきました。

当日は、竹提灯の灯りのなか、子タヌキの衣装に身を包んだ子どもたちは、菊水琴響会の琴が奏でる「荒城の月」にあわせて踊り、次にぼんぼこ踊りを披露しました。

タヌキに扮した子どもたちが踊る姿に、来場者は笑顔で見入っていました。



元気に踊る子どもたち

人権擁護委員に感謝状と委嘱状を授与

10月17日（月）、役場本庁で人権擁護委員の感謝状と委嘱状の伝達式が行われました。

人権擁護委員は、地域の人から人権相談を受け、問題解決のお手伝いや人権について関心を持ってもらえるような活動を行っています。式では、法務大臣からの感謝状が、田川俊信さん（日平）、永田満子さん（下津原西）に、玉名人権擁護委員協議会からの感謝状が内野祐治さん（上古地）、眞崎和代さん（下津田）に渡されました。

また、前回に引き続き中村精也さん（竜門）、今回から新しく林君代さん（日平）、庄山慶司さん（下津原中）、橋本古寿江さん（上和仁）、陶山えつ子さん（下津田）の5人が人権擁護委員となり、法務大臣からの委嘱状の交付が行われました。



9月末に人権擁護委員を退任された内野さん（左上）、眞崎さん（右上）、田川さん（左下）、永田さん（右下）

遺族会から白寿のお祝い

10月18日（火）、熊本県遺族連合会から白寿の表彰が行われました。和水町では、古家イチエさん（中吉地）が受賞され、和水町遺族会三加和支部会会長の福山精一さん（下平野）からお祝いと記念品が贈呈されました。

遺族会は戦没者の妻や家族で作られた団体で、和水町の遺族会に入っている人のなかでは、今年度唯一の受賞となりました。27歳の時に、夫が戦死し、以降一人で子ども3人を育てました。古家さんは「お祝いをいただきありがとうございます、まだまだ長生きします。」と元気に話されました。



白寿を迎えた古家さん

スポーツの秋！町内の保育園で運動会開催

10月1日（土）に菊水ひまわり園・神尾保育園・春富保育園で、10月8日（土）にあおば保育園で運動会が行われました。さわやかな秋晴れのなか、子どもたちはこの日のために一生懸命練習してきたことを元気いっぱい披露していました。わが子の雄姿をカメラに収めようと、どの会場にも大勢の家族が訪れ、かけっこや玉入れなどの競技に子どもたちへの声援や拍手が飛び交いました。

どの会場でも大変盛り上がり、たくさんの笑顔と多くの思い出が出来た運動会となりました。



英語キャンプ

10月15日（土）、中央公民館で小学生を対象とした英語キャンプが行われました。このイベントは、和水町と包括連携協定を結んでいる九州ルーテル学院大学が、子どもたちに英語に触れあってもらおうと企画しました。

参加したのは、和水町在住の小学校1年生から6年生までの計22人。当日は英語しか話せないルールのもと、大学生とともにゲームなどを楽しみながら、普段あまり触れることのない英語に親しんでいました。

子どもたちは「英語の歌を歌ったりして楽しかったです。英語を話せるようになりたいので、勉強をがんばります」と笑顔で話していました。



大学生とともに英語を学ぶ子どもたち